

声優の仕事とニッポンの芸

声優さんたちは人気者である。アイドルになつてゐる方々もいる。ようだ。恥ずかしながら、実はこのコラムを書くようになるまで僕は声優人気がこれほどとは知らなかつた。アニメには声優の働きが大切なのはわかる。特にアニメファンでなく一般の人たちの間でも、声の出演者が評判になつたアニメもあつた。アニメ映画なのに俳優が出演して（顔を出さず）話題になることもしばしばある。

前回の『トトロ』の話でも同じような話を

したが、同じアニメでも声が違うと違うキャラクターに「見え」てくるものである。マンガがアニメ化されると、特にその作品のもとのファンは声が自分のイメージに合わないと感じることもよくあることだろう。

声優の役割がいかに重要だとしても、声優業がこれほど見る人の注目を集め、人気となるのは、やはり僕には「日本的」な現象に思われる（断つておくが、僕は「日本（人）的」ということばを「だから悪い」と否定的に使うようなマジではない）。

声優さんは人気者である。アイドルになつてゐる方々もいる。ようだ。恥ずかしながら、実はこのコラムを書くようになるまで僕は声優人気がこれほどとは知らなかつた。アニメには声優の働きが大切なのはわかる。特にアニメファンでなく一般の人たちの間でも、声の出演者が評判になつたアニメもあつた。アニメ映画なのに俳優が出演して（顔を出さず）話題になることもしばしばある。

前回の『トトロ』の話でも同じような話を

したが、同じアニメでも声が違うと違うキャラクターに「見え」てくるものである。マンガがアニメ化されると、特にその作品のもとのファンは声が自分のイメージに合わないと感じることもよくあることだろう。

声優の役割がいかに重要だとしても、声優業がこれほど見る人の注目を集め、人気となるのは、やはり僕には「日本的」な現象に思われる（断つておくが、僕は「日本（人）的」ということばを「だから悪い」と否定的に使

べるかもしれないが、声優はそれをやりすぎだろ。舞台俳優ならたまにアドリブでしゃべられた枠の中でどう演ずるかが声優さんの見せどころなのだと思う。

日本の伝統的な古典落語も似ているところがある。話の筋はあらかじめ決まっているのだが、落語家の話しうりが芸なのだ。日本ではアナウンサーもタレントである。最近はバラエティ番組も多いが、基本的にアナウンサーの仕事は与えられたメッセージをうまく的確に伝えることである。日本ではドラマのあらすじが番組の宣伝や次回予告でだいたいわかつてしまい、時には新聞のテレビ欄に結末まで書いてあることがあるが、それは要するに見る人はそれでも見るからであろう。話の筋はわかついてもそれがどう演じられるかが見たいのだ。

日本では翻訳家の地位もわりと高い。アメリカなどではヘタをする翻訳者の名前が記されていない翻訳書もある（日本では翻訳者は原作者と同じくらい大きな字で名前が表紙に載っている）。

思えば、僕たちの国は古くは中国、明治以降はヨーロッパ、戦後はアメリカと、その時の世界の最先端からいろいろなものを取り入れて栄えてきた。つまり外から与えられたのをうまく自分流にかみくだいて演じてきたのだ。与えられた枠の中の芸、そしてそれを楽しんで受け入れる鑑賞者——それが日本と日本人。なかなかすごいことだと僕は思う。

